

戦略会議に基づいた取組の展開に期待

地域連携教育エリアアドバイザー 川本 卓



町内の小中学校がコミュニティ・スクールに指定されてから7年が経過し、学校運営協議会委員が研究授業参観後、校内研修に参加する参加型校内研修や、子どもたちと学校運営協議会委員等が「行きたくなる学校、子どもたちが解決できる地域課題等」について話し合う学校が増えてきている。
また、今年度から町教委主催の地域コーディネーター等の研修会を開催したり、全小中学校が地域カリキュラムを作成したりして、やまぐち型地域連携教育を推進している。

周防大島町の推進構想

周防大島町では、令和元年6月3日(月)に特任アドバイザーと連携したやまぐち型地域連携教育戦略会議を開催した。このやまぐち型地域連携教育戦略会議では、まず本町の学校教育課指導主事、社会教育課社会教育主事が、「山口大学と連携した『やまぐち型地域連携教育』に係る成果検証の結果(周防大島町データ)」の分析から本町で課題ととらえられる内容を報告した。次に、課題解決に向けた今後の重点取組事項や、重点取組事項の検証方法を話し合っ決定した。下記のような整理ができた。

【戦略会議で明らかになった成果と課題】

- 学校は「やまぐち型地域連携教育」の取組について積極的な情報発信や公開を行っている。しかしながら、地域住民や保護者の認知度が低い。
- 学校運営協議会において、地域住民と児童生徒が地域課題を共有して知恵を出し合う場の設定や、子どもの意見を生かした企画がない。

【課題解決に向けた重点取組事項】

- 教育委員会として、学校運営協議会委員と児童生徒が「地域の課題やめざす児童生徒像」等について熟議をしたり、授業の中で交流を図ったりする取組を提案する。
- 教育委員会として、文字数を減らす、支援者の声を掲載する等、読み手に寄り添った「コミュニティ・スクールだより」の工夫・改善を提案する。
- 教育委員会が、学校に「学校・地域連携活動年間計画」の作成を提案し、学校運営協議会委員の参画の学校間格差や「やまぐち型地域連携教育」の認知不足を解消する。
- 教育委員会が、地域コーディネーター等研修会を開催し、地域連携教育の目的やそれぞれの立場で期待されている役割等の確認を行う。

【重点取組事項の進捗を測る指標】

- 周防大島町内全小中学校中1/4以上の学校で、児童生徒と学校運営協議会委員等との熟議を行う。
- 周防大島町内全小中学校で学校運営協議会委員と知恵を出し合っ作成した「学校・地域連携活動年間計画」を作成し、教育委員会に提出する。
- 周防大島町全体の地域コーディネーター等を一同に集めた研修会を年2回実施する。
- 児童生徒の変容や学校運営協議会の認知度について、昨年度と同様にアンケートを実施し、学校運営協議会の認知度を確認する。

【今年度の成果と今後の見通し】

周防大島町全体の地域コーディネーター等を一同に集めた研修会では、「山口大学と連携した『やまぐち型地域連携教育』に係る成果検証の結果(周防大島町データ)」のデータ分析を基にこれまでの地域連携教育の成果や課題を協議する研修会を開催することで、町全体で取り組むべきことについて当事者意識をもって考えることができた。

今後は、学校が「子どもに育成したい資質・能力」と「取組」との関連性を明確にした地域連携活動年間計画を学校運営協議会等で地域関係者に提示し、取り入れられる意見は取り入れて更新することで、学校と地域の連携・協働体制の確立と継続を図っていききたい。

令和元年度 浮島小学校地域連携活動年間計画(案)

学校教育目標	夢の実現に向けて 努力し続ける「浮島っ子」の育成					
めざす児童像	運動する子「元気いっぱい健康でたくましい子」 考える子「知恵いっぱい自ら考えよく考える子」 夢抱える子「風がいつだってあてに当たってがんばり続ける子」 真心のある子「笑顔いっぱい仲間(助け)いえあうり豊かな子」					
浮島小学校で育成を目指す資質・能力(付けたい)	浮島小学校で育成を目指す資質・能力(付けたい)					
学年	小学校1年	2年	3年	4年	5年	6年
教科・行事等	<p>大島音頭9月 ● ふれあい大運動会:9月</p> <p>● 海浜水泳:7月 ● 持久走大会(地域):12月 ● なわとび大会:1月</p> <p>● 社会:水産業のさかん地域 ● 課題:ふるさとのよさを発信しよう(仮の課題)</p> <p>● 社会:道徳犬の訓練 ● 社会:くらしを守る仕事(ごみ・水・曹製) ● 社会:町たんけん ● 体育:水泳配給会・陸上配給会に向けて</p>					
生活科・総合的な学習の時間	<p>● 学校たんけん ● 町たんけん ● 1/2の成人 ● 浮島タイム(総合):浮島水族館</p> <p>● 野菜を育てよう ● 浮島タイム(総合):浮島について調べたことを発表しよう ● 浮島タイム(総合):浮島の産業・自然・歴史を伝えよう</p>					
特別活動・行事	<p>● 庭に学ぼう 梅加工体験(梅干し・ジャム・ジュース作り):5~6月 ● 磯探検5月 ● 磯網漁見学8月</p> <p>● 夏祭:7月 ● リーン作戦:7月、12月 ● ふれあい参観日:10月 ● しらとり苑訪問:1月 ● 社会見学:11月 ● 修学旅行 ● 修学旅行</p>					
学校・家庭・地域が連携して取り組むこと	<p>○学校環境整備作業 ○夏下校の安全指導(見守り) ○プール清掃 ○地域清掃ボランティア活動 ○行事(運動会、ふれあい参観日、浮島フェスタ、持久走大会)の企画運営</p> <p>○保護安全活動(救急救命法等) ○海水浴監視 ○地域文化の伝承活動(大島音頭、えびず舞) ○挨拶運動</p>					
人材リスト	<p>○○○○○さん【磯探検】 ○○○○さん【磯網漁】 ○○○○さん【運動会】 ○岸見地区・江ノ浦地区 区長さん、老人クラブ会長さん ○○○○さん【大島音頭】</p> <p>○○○○○さん【梅干しづくり】 ○漁協青年部 ○読み聞かせサークル ○浮島地民生児委員</p>					

活動取組

周防大島町東和総合センター



地域連携教育の充実に向けた取組

地域学校協働活動推進員、教育活動推進員、地域連携担当教職員、地域連携活動支援員が地域連携教育に関する協議を通して、地域とともにある学校の在り方について理解を深めた。

周防大島町立島中小学校



子どもたちが自ら地域へ目を向ける取組

「学校運営協議会を充実させるために、児童の声を取り入れなければ!」という考えのもと、地域住民・児童・教職員が「どんな学校にしたいか」「そのために何ができるか」について話し合った。

周防大島町立森野小学校



学校運営の充実に向けた取組

学校運営協議会の委員を招いて年間6回の授業研究・研究協議会を開催している。協議の場では、地域の方と教職員が授業について意見交換し、それをもとに授業改善を図っている。

周防大島町立沖浦小学校



地域学校協働活動の充実に向けた取組

学校運営協議会で共通理解しためざす児童像をもとに、地域の方と児童、教職員がタマネギの栽培や花づくり等の地域学校協働活動を実施し、指導の効果を高めている。